校長室から **ひがしなら通心**

（Ｈ３０年度）　茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．２９

平成３０年９月２１日（金）発行

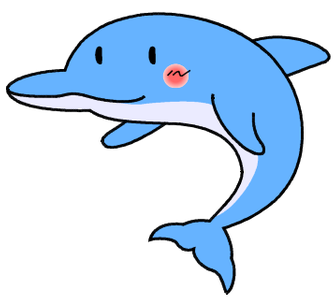
運動会を成功させよう！

みなさんが楽しみにしている運動会が近づいてきました。運動場や体育館からは、一生懸命練習するみなさんの元気な声が聞こえてきます。１年生にとっては初めての運動会ですし、６年生にとっては小学校最後の運動会です。みなさん一人ひとりが運動会を成功させようという気持ちで取組んで、思い出に残る運動会にしていきましょう。

運動会には、学年での団体競技や集団演技があります。どの学年も当日が楽しみですね。しかし、「自分だけはいいや」という気持ちの人が一人でもいると、団体競技や集団演技は崩れていってしまいます。ケガをする人が出るかもしれません。苦しいけれど協力して、一つのものを作り上げるという気持ちを持つことが大切です。そこで、以前、新聞で取り上げられていたのですが、二頭のイルカが協力して演技に取組んでいる話を紹介します。

長崎県のある水族館に、ナミとニーハという名前のイルカがいます。二頭ともメスで推定年齢１２歳のハンドウイルカです。みなさんのなかにも可愛いイルカの演技を見たことがある人もいると思います。この水族館でも、一番の人気はイルカのショーで、最大の見せ場はナミとニーハによる「ジャンピングキャッチボール」です。ナミとニーハが同時にジャンプして、まずナミが空中でくわえたボールを投げ、それをニーハが口で受け止めるという演技です。まばたきするほどの早業で、客席からは「ナイスキャッチ！」という歓声が上がるそうです。

では、どうしてナミとニーハはこんな演技ができるのでしょうか。水族館のイルカのトレーナーと大学の先生がプールにマイクとビデオを入れて調査をしました。すると、どうでしょう。イルカの高い知能がまた一つ明らかになったのです。キャッチボールをするときに、二頭のイルカが鳴き声でタイミングを合わせていることがわかりました。ナミがボールを投げるときに「ピュイ」という鳴き声を出していたのです。鳴き声を出



さなかったときもあったのですが、鳴き声を出したときの方が３倍も成功したそうです。さらにおもしろいことに、大学の先生は、イルカは「ピュイ」という鳴き声を出しながら自分も演技を楽しんでいるようだと話しています。知能の高いイルカのことですから、お客さんが喜んでくれるのが嬉しくて頑張っているのかもしれませんね。

みなさんも「いち、にい、さん」とか、「せーの」とか声を掛け合って練習していますよね。心を一つに協力して取組めば、きっといい思い出ができる立派な運動会になるでしょう。だから、ぜったい成功させましょう！

秋の全国交通安全運動

９月２１日（金）から９月３０日（日）までの１０日間、秋の全国交通安全運動が実施されます。登下校の時や遊びに行く時は、交通ルールを守っているか、他人に迷惑をかけていないか、この機会に考えてみましょう。

- 登下校時は、必ず決められた「通学路」を通りましょう。
- 道路への「飛び出し」は、大変危険です。絶対にやめましょう。
- 道路を横断するときは、必ず止まり、右・左・そして周りの安全を確かめましょう。
- 自転車の二人乗りは、絶対にやめましょう。
- 自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶるよう心がけましょう。
- 自転車で歩道を走るときは、歩行者の迷惑にならないよう、車道よりをゆっくり走りましょう。

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」　ロン･クラーク　草思社

ルール４５　前向きに生きて、人生を楽しもう

うまくいかないことがあっても前向きに考え、人生のすばらしい面に目を向けよう。

●何かがうまくいかなくても、ふきげんになったりせずに、切り抜ける方法を考えよう。自分にできる最善のことをして、それでも解決できないときは、悩むのをやめて前進しよう。